

授業科目名・形態	精神保健の課題と支援Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

精神保健では様々なことを学習する。精神保健の基礎知識、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健における個別課題への取り組み、地域精神保健と地域保健、諸外国における精神保健、関連法規及び施設が含まれる。受講生は、1年かけて精神保健学の幅広い取り組みを知り、その奥の深さを学んでほしい。

【到達目標】

- 1) 精神保健の重要性と健康や精神保健の定義等についての基本的な考え方を学ぶ。
- 2) 現代社会におけるライフサイクルの意味と各ライフステージに関連した精神の健康の問題、現代社会におけるストレスをめぐる問題、生活習慣の変化が身体と精神に及ぼす影響などを理解する。
- 3) 上記の問題に取り組む精神保健福祉士の役割を学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 精神保健に関する発生予防と対策①
- 第2回 精神保健に関する発生予防と対策②
- 第3回 精神保健に関する発生予防と対策③
- 第4回 精神保健に関する発生予防と対策④
- 第5回 精神保健に関する発生予防と対策発生予防と対策⑤
- 第6回 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題①
- 第7回 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題②
- 第8回 精神保健に関する国の役割
- 第9回 精神保健に関する法規、多職種の役割と連携
- 第10回 地域精神保健にかかわる行政機関、学会や関係団体 セルフヘルプグループ
- 第11回 世界の精神保健、
- 第12回 諸外国の精神保健医療の実情 および小テスト
- 第13回 共感とクライアントの成長（来談者中心療法的面接）
- 第14回 ストレス対応と認知行動療法における精神保健福祉士
- 第15回 カタカナ専門用語

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

新聞等で福祉に関する記事を読む習慣を身につけること

【関連する科目】

「精神医学」「心理学」

【教科書】

「精神保健の課題と支援」中央法規出版

【評価方法】

筆記試験又はレポート 80%、出席数 20%により総合的に判断する

【実務経験及び実務を活かした授業】

経験で得た援助場面を想定し、学生に対応を考えてもらう。

【学生へのメッセージ】

本講義は社会福祉専門職の視座や役割、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である社会福祉士受験資格を目指す学生は情熱をもって知識を習得してほしい。